

主役あつまれ

イヌ

表情豊か 心が通い合う



1949年生まれ。代表作に「ゆうたくんちのいばりいぬ」(シリーズ1で講談社出版文化賞受賞)。

きたやま ようこさん

小さいころから身近に犬がいたり前前の生活でした。当時、うちにいたのはマルチーズ。でも、いつか大きい犬と暮らすのが夢でした。

夢がかなったのが二十数年前。シベリアンハスキーの子犬との出会いです。ハスキー犬は体力があつて、やんちゃ。チェスと名付けて1年間

「育犬休暇」をとり、しつけや散歩と、夢中で世話を焼いていました。そのチェスが「ゆうたくんちのいばりいぬ」シリーズの「じんぺい」のモデルです。私がひと目惚れした

魅力を伝えたい、この犬と何ができるか、と考えながら、チェスの絵を壁に張っておいたら、おしゃべりが聞こえたんです。「おれいぬ」「おまえにんげん」と。それから、お話がスタートしました。



イヌのじんぺいとゆうたは犬の仲良し『ゆうたはともだち』(ゆいたくんちのいばりいぬ)一、あかね書房、735円(税込)から

犬は義理堅いし、けなげですね。一緒にいる人間の気持ちをくみ取ろうと一生懸命です。そして、家族一人ひとりを見極めて、それぞれに対応しようとする。赤ちゃんと一緒にその子がケガをしないように守ろうとするし、遊んでくれる人にはうれしそうに寄ってくる。絵本の中の「じんぺい」もそうです。家族それぞれをよく観察している。そういう姿から『ゆうたのおかあさん』『ゆうたのおとうさん』と、シリーズがふくらんでいきました。

喜怒哀楽の表現が分かりやすいのが犬のいいところ。うれしければしっぽを振り振り寄ってきますし、失敗したら、気まずそうな顔をしている。感情表現がシンプルな分、深く心を通わせられる気がします。だから、一緒にいられる幸福感も大きい。人生を豊かにしてくれる、大切な存在です。

聞き手 大平佐知子